

いつも AKF の維持管理にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ご存じの職員もいるかもしれませんが、AKF を導入している四万十町に、視察を申し込む自治体がいくつかあります。先日、大豊町（8/25）の本庁への視察を受け入れました。今回はその視察の様子を紹介させていただきます。

～大豊町の視察風景～

プレゼンテーション

大豊町からは大豊町長を含む7名の職員が来庁しました。

副町長から台風11号の慰労があり、担当職員が挨拶し、AKFのプレゼンテーションは始まりました。

内容は、大豊町さんがAKFそのものに馴染みがないという点を担当職員が考慮して、ファイリングシステムの基礎説明と、AKFを四万十町がどう導入したかに重点を置いた内容でプレゼンを行いました。

後日お礼のメールが届いたのですが、「キャビネットに保存した状態はよく分かる。日常仕事では、机はどんなに使用しているか見てみたい」との率直な意見も頂きました。

プレゼンテーション終了後の質疑応答では、大豊町長自らの質問も頂戴しました。



執務室見学



プレゼンが終わってからは執務室（西3Fフロアの課）の見学に移りました。

ここでは、ファイリングシステムに則って整理したキャビネットの中身を、大豊町さんに見てもらいました。百聞は一見に如かずとは言いますが、プレゼンテーションと実物を見るのでは、大豊町さんの関心も変わったようでした。キャビネットの機能が特に気になるようでした。

キャビネット以外にも、図書や道具を置くコーナーもお見せしました。

「動かした物は元の場所に戻す」の取り組みであるダブル表示には大豊町さんも驚かされていたようでした。

書庫検索に挑戦



執務室見学が終わってからは、01書庫に場所を移し、書庫検索にトライしていただきました。

この書庫検索の課題は、大豊町さんにはお知らせせずにこちらで用意したのですが、皆さん受け入れて、チャレンジしてくれました。

大豊町の職員さん方のタイムは大まかに36～40秒でした。「3分以内に取り出せる」との指導の通り、それどころか1分オーバーの方もいませんでした。

今後、大豊町さんが職員の実務を見せてほしいという要望がありましたら、皆さん、ご協力お願いします。

★その他、疑問や質問などございましたら、総務課（法制・文書グループ）までご連絡ください。